

本瓦造船(株)の事業基盤強化計画(抜粋)

企業概要

- 昭和24年創立。内航ケミカルタンカー、タグボート、旅客フェリー等の付加価値の高い小型特殊船を建造。
- 近年では、水素燃料電池、リチウムイオンバッテリー、およびバイオディーゼル燃料から推進エネルギーを選択し航行できるハイブリッド旅客船を建造し、従来の化石燃料を使用した船と比較して二酸化炭素排出量の53%~100%削減を実現している。
- 今後、これら技術を深化・展開させ、環境負荷低減や船員の労務環境改善といった社会的ニーズに取り組みつつ、更なる次世代省力化船の開発を進めていく。



ハイブリッド旅客船「HANARIA」
(シップ・オブ・ザ・イヤー2024受賞)

計画の概要

- 遠隔荷役・離着岸支援システム等を採用した小型の次世代省力化船や、水素とバイオディーゼルを燃料としたハイブリッド旅客船等の設計・開発・建造で培った技術を活かし、より大型の次世代省力化船や電気推進船の開発・建造に取り組む。
- 併せて、油圧式荷役弁遠隔操作システム等の開発に取り組み、マーケットニーズへの対応を目指す。
- さらに、開発・建造の効率化を図るべく、3D CADシステムの活用を拡大する。

<計画実施期間> 2025年10月~2030年9月

<実施場所> 本瓦造船(株)(広島県福山市)



小型次世代省力化船「りゅうと」
(シップ・オブ・ザ・イヤー2021
小型貨物船部門受賞)